



い・た・わ・り

一般社団法人 茨城県福祉サービス振興会情報紙

No.63

[発行人] 鈴木一良 [編集・発行所] (一社) 茨城県福祉サービス振興会 〒310-0851 茨城県水戸市千波町 1918 番地
セキショウ・ウェルビーイング福祉会館 (茨城県総合福祉会館) 5階 TEL.029-241-6939 FAX.029-241-6799

発行 2025.1

ごあいさつ



一般社団法人
茨城県福祉サービス振興会
会長 鈴木 一良

明けましておめでとうございます。お健やかに令和7年の新春をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。

日頃よりご理解とご支援を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、本振興会の昨年の事業執行につきましては、お陰様で法人事業である講座・研修事業に関し、講座ごとにZOOM方式と対面方式に分けて実施し、受講者数は前年度を上回る実績を上げております。また、要介護認定調査業務に関しても、関係市町村担当者の



茨城県知事
大井川 和彦

新年あけましておめでとうございます。

一般社団法人茨城県福祉サービス振興会の皆様におかれましては、新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、我が国では急激な人口減少が進む中、本年、「団塊の世代」の全ての方々が75歳以上となるなど、超高齢社会が進展しております。

そうした中、皆様には、日頃より社会に欠かすことのできない福祉・介護関連サービスの提供にご尽力いただいておりますことに深く感謝申し上げます。

皆様からのご理解のもと順調に進めることができているので、引き続きましてのご利用・ご活用をお願い申し上げます。

更に、茨城県委託事業につきましても、介護普及・実習センターの運営、介護職員腰痛予防対策推進事業、要介護認定調査員研修等も多数の参加者を得て順調に実施することができております。

本振興会といたしましては、本年も会員ニーズを汲み上げ一層研修等の充実を図るとともに、茨城県はじめ関係団体と連携を図りながら業界発展に寄与してまいります。

会員の皆様には、人材不足や諸物価高騰の折柄、厳しい業界環境ではありますが、本振興会の事業運営にご支援ご協力をお願い申し上げますと共に、より一層地域に密着した企業として活躍されますことをご祈念申し上げます、新年のごあいさつといたします。

県としましては、今後も、加速度的に進む人口減少による危機を乗り越えていくため、人口の「社会増」に焦点をあて、国内外から「茨城に住みたい、住み続けたい」人が大いに増える「選ばれる茨城」づくりに、全力で取り組んでまいります。

そのため、医療や福祉など、安心安全につながる生活基盤の充実のほか、深刻な労働力不足を踏まえ、優秀な外国人材の確保・育成や生活・教育環境の整備に力を入れて取り組んでまいりますので、なお一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

結びに、皆様にとって、本年が更り多き素晴らしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

「自立」があつての「貢献」

より良い茨城県を目指して

一般社団法人 茨城県福祉サービス振興会 副会長 梅澤 秀樹

我々の住む茨城県は、はるか昔奈良時代の書物からみても「土地広く、土が肥え、海山の産物もよくとれ、人びと豊かに暮らし、常世の国のようだ」とうたわれているように、大変豊かな風土に囲まれ、恵まれた県だといえます。また近代においても、昔から培われた産業や文化を礎に、農業、工業、畜産業、科学技術とあらゆる産業において発展を遂げて参りました。

しかし高度経済成長の時代を経て、人々の暮らしも大きく変化し、現代では少子化および高齢化があらゆる産業の発展に暗い影を落としております。

とりわけ「二〇二五年問題」といわれるように、今年が団塊の世代の方々が後期高齢者となるため、より産業に従事する人口の減少に拍車がかかる、そんな年を我々は迎えております。

支える側の行動

そのような中でも高齢者の数は増え続け、要介護認定を受け、介護や介助が必要だとされる人もより多くなつて

いくことが予想されます。それらを支える我々は、果たしてどのように考え行動していくべきなのでしょう。

まず最も重要なことは、我々自身ができるように努めることです。やはり「自立」があつての「貢献」です。それを絶対に維持できるように自らの健康管理など、怠らないようお過ごしただきたいと思ひます。

高齢化率の高さへの新たな戦略

次に大きな流れを汲んで細部に取り組む必要があると思ひます。我々が住む日本という国家全体はこれまで、「高齢化の速さ」が課題とされてきました。これからは「高齢化率の高さ」が課題となる段階に入っております。これによって認知症高齢者の数も大きく増えて参ります。日々介護に携わるみなさまはよくご理解されていると思ひますが、認知症ケアはより労力がかかり、さらにはケアに割く時間も多く取られてしまいます。そのためケアできる方の総数は絞られていくものと思わ

れます。これまでのように市場の規模を広げるような拡大路線ではものごとを考えられない時代であるため、市場規模やエリアを縮小化する一方で、そのターゲットを絞った中での高付加価値化や優先順位をつけた戦略が求められていくのではないのでしょうか。つまり「ロケーション」を意識したマーケティングが重要だといえます。

また支える側の人材を確保することも大きな課題といえます。少子化がうたわれて久しいこの日本では、医療や介護に限らずあらゆる産業において、その人材の確保が最重要課題だといわれております。果たして介護業界は他の産業との人材の争奪戦で打ち勝つことができるのでしょうか。他の産業と比較された時に、介護に従事してくれる人の立場で考えると、効率よく賃金が稼げるかどうか、は最も重要な就労条件といえるのではないのでしょうか。

労働生産性の向上

介護保険の介護報酬で賄われる介護従事者の賃金は、報酬改定で大きく改定されなければ、決して上げることができないものです。もしそうであるならば、いかに効率よく業務を遂行してもらうかに専念するほかありません。無駄に拘束している時間は無いが、事務作業は適切か、リモートワークで対応可能なものは無いが、労働環境は整っているか、といったあらゆるものを常に見直していくことが求められていくのが、介護業界に限らず現代社会を生きる我々の使命だと感じております。

大それたことを述べてしまいました。が、ひとつひとつ、小さなことでも自分ができることから始めていくことが重要だと感じております。茨城県または自分が住む街や地域の発展を心から願うならば、そこで買ひ物をすることもまた、地域に貢献する大事な要素だと思っております。できるだけお金は地元で使うことを心掛けてまいりましょう。

ひとりでは出来ることはささやかかもしれませんが、ひとりひとりの声を集めて、その声を社会に反映させていくこともとても重要だと考えております。是非、一般社団法人茨城県福祉サービス振興会の取り組みにご理解、ご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。



介護実習普及センターのご案内

福祉用具展示ホールについて

福祉用具展示ホールでは、車いす、介護ベッド、杖等の福祉用具、介護ロボット等約400点を展示しております。見て、触れて、お試しできますので、ぜひご来館ください。貸出可能なものもございます。（販売は行っておりません。）

- ・場 所：セキショウ・ウェルビーイング福祉会館 2階（水戸市千波町1918）
- ・開館時間：9：00～17：00（土日祝日除く）
- ・電 話：029－244－4425

【新展示品の紹介】

● iTSUMO3（展示協力：アーバンテック）

～GPSでいつでも居場所がわかります！安心をお届けします～

- ・GPSも含め介護保険貸与を可能とした、GPS型の徘徊感知器です。
※以前は家を出た際にブザーが鳴りお知らせ機能のみであり、その後の行方を捜すGPS機能は対象外でした。
- ・使用は専属の福祉用具事業所がいつでもサポートします。
- ・【使い方】

- ①専用アプリを、介護に携わる方のパソコンまたはスマホに登録
 - ②ブザーが鳴る端末を玄関と、対象者の靴の甲やカバン等に設置。
 - ③対象者が家を出ると、玄関のブザーが鳴り外出を知らせます。
 - ④スマホの専用アプリを開くと、対象者の居場所が確認できます。
- <介護保険貸与参考価格>2,000円程度/月



【貸出 DVD・図書について】

介護技術関連のDVD、図書の無料貸出を行っています。（ホームページ内で貸出の一覧をご覧ください。）

- ・貸出条件・①お一人様1回3点まで ②貸出期間 2週間（延長可） ③送料負担で送付可能

●おススメ図書 訪問介護で「できること」「できないこと」能本 守康 著

訪問介護でお勤めされている中、「これって行っていいのかな、大丈夫なの？」等、悩まれるであろう事例について、著者がQ&A形式で解説しています。図解つきで理解しやすい内容ですご一読の価値あり！ぜひ、ご利用ください。

【団体見学について】

展示ホールでは団体様向けに福祉用具の紹介・使い方の説明を行っています。（要予約）

バスの駐車も可能ですので、福祉関係の研修会等の際ぜひお立ち寄りください。

11月19日（月）に桜川市社会福祉協議会様がお越しになりました。

1Fの月替わり展示から介護保険で利用できる福祉用具を中心に説明を行いました。2Fではバケツ洗浄のいらない自動ラップ式トイレ、坂道でも楽々昇れて坂道でも転倒を防げる電動カートの機能等についてお話ししました。



特設コーナー展示

特設コーナーでは、月替わりでおススメの福祉用具の展示を行っています。

場所：セキショウ・ウェルビーイング福祉会館1階

8月	入浴補助用具
9月・10月	歩行器
11月	手すり
12月	移動用リフト

(写真は過去のもので)

※協力：日本福祉用具供給協会茨城支部



令和7年度福祉用具専門相談員指定講習会について

“介護保険法” における指定福祉用具貸与、または販売する事業所に従事する“福祉用具専門相談員”の要請を目的に開催します。福祉の業務に携わっている方、福祉用具に関心ある方等、どなたでも受講することができます。

開催日	令和7年5月15日～18日、6月6日～8日 (試験日6月14日)
開催場所	セキショウ・ウェルビーイング福祉会館
募集人数	20名(最少催行 10名)
受講料	60,000円



* 詳細は当会ホームページ、またはお問い合わせください。
(029-244-4425)

